

岐阜新聞真学塾

出題 螢雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

岐阜県の高校入試まで2か月を切りました。英語学習では英単語の習得が重要ですが、高校入試でも英単語を答える問題が毎年出ています。今回はこの単語補充問題を、できるだけ最小限の文量で10問用意しました。()に入る単語の意味をよく考えて挑戦しましょう！かっこの中に文字がある場合は、その文字から始まる単語を入れましょう。

- (1) English is the () spoken in America.
- (2) The day after Tuesday is () .
- (3) Today I ate (b) at 6:00 a.m.
- (4) My favorite () is Japanese because I like reading books.
- (5) In summer, we have a big (f) named Gujo Odori. This year it will begin on () 9th, two days after Tanabata.
- (6) To go to Nagoya, we should go to the Gifu (S) and take a train.
- (7) There are many () in the zoo.
- (8) If you are () now, please help me.
- (9) Yesterday I got up at 9:00 a.m. so I was () for school.
- (10) You will go to the () if you want to borrow books, not to buy them.

豆知識 雑学コラム

単語の意味を考えよう！

例年、岐阜県の単語補充問題は大問2の最初に出ています。1問3点と、他教科と比べてみると意外と点が高く、確実に得点したい問題です。

そんな単語の問題ですが、鉄則は「入る単語の意味を考える」ことです。名詞や形容詞の部分が()になっていることが多いので、()のまま日本語に訳して考えましょう。たとえば(1)では「英語はアメリカで話される()です。」となりますね。日本語にすると、入れるべき単語の意味がすぐに分かると思います。あとはそれを、英語に直しましょう。

なお、少々細かい分析ですが、2018年までは名詞を、19年からは形容詞を入れる問題が出ています。また、19年は()が2つあり、一方は意味ではなく、文法の観点から入れる問題でした。また、この19年にはcalligraphy(書写)が注なしで登場しています。当日意味が分からなくても、名詞であることはわかるので、「calligraphy」のまま訳して考えても全く問題がなかったです。

本番では、もっと長い文章から状況を掴み、入れるべき単語の意味を考える必要があります。それでも、やるべきことは「()のまま訳して、日本語で考える」です！単語の知識を増やすとともに、問題の対処法も徐々に学んでいきましょう！

【解答】

- (1) language (2) Wednesday (3) breakfast (4) subject (5) festival, July (6) Station (7) animals (8) free (9) late (10) library